

景況実感調査(2020年8月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適切な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 8月は前月比減少となったが、日割りでは横這い水準であった。需要の盛り上がりは無いものの三品在庫の圧縮により需給は少し締まってきたように感じる。
- ② 実働16日となり対前月比5日減。売上、数量共に近年にない大幅な落ち込みとなり対前年40%以上の下落。当団地内の企業の45%が雇用調整助成金の申請実施というアンケート調査の数字が深刻さを表している。7月末薄板在庫が300万トン代はGOOD NEWSだが、流通の必死の在庫減らしとメーカーの減産強化の結果なるも、8月の落ち込みからも、8月の在庫が目される。これ以上の価格下落はひとまずなさそうな気配。
- ③ 夏休みで稼働日数も少なくコロナ、熱中症対策等マイナス要因が絡み、加工量も最悪な状況。
- ④ 下期への期待しかないが、夏場よりは需要が高まるとのヒアリングがちらほらある。与信管理に注力している。
- ⑤ 8月は5月同様、数量減少。ただし、9月は受注が少しずつ増量傾向に戻りつつある。
- ⑥ 8月、お盆過ぎてから多少動きが良くなってきたように感じる。輸入材の価格も上がり、入ってくる量が減って三品在庫もようやく400万トンを切っており、高炉が値上げの雰囲気を着々と進めようとしているように思う。しかし、値上げするためには、もう少し需要が盛り上がってほしいところだ。

中板

- ① 8月は盆休みの影響もあり中旬前後に久しぶりに繁忙を感じたが、終わってみれば日当たりの加工及び販売は4月以降の各月と変化なし。ただここに来て、自動車生産の回復計画もあって高炉の減産緩和や一部品種の値上げ等、潮目の変化も報じられている。また、今回のコロナ不況はリーマンや東日本大震災と異なり、フローのショックに過ぎず、ストックは何も傷んでいないことから、回復に積極的に進むべきとの期待的評論も聞かれることから、景況好転を願うところである。

厚板

- ① 8月は稼働日が少ないことから販売量前月比は例年減少するものの、今年は特に落ち込みが厳しい。前年同月比でも大きく減少しており、コロナ不況の影響が顕著に表れている。建産機関連主要ユーザーの稼働は低迷しており、回復が見られない。土木案件は端境期に入り、物量は減少している。素材販売も、ここに来て注文が大幅に減少しており、販売は前月比半減している。全ての領域で大幅な落ち込みが見られ、先行きは極めて厳しい。
- ② 厳しい状況が今後も続きそう。

—舟爰开彡金岡

- ① 8月は暦年での今年最低の売上で、一日当たりも然り。8月より営業日の少ない5月が上位とはショック。コロナ禍が表面化したか。前年同月比では40%の落ち込み。9月に挽回か回復しないと憂慮すべき事態となる。スクラップ市況引き締めによる電炉製品値上げ機運は仇となる。
- ② 受注件数は増加。しかし、小口中心。スクラップ価格が上昇しており、今後仕入れ価格も連動の見込み。9月より値上げアナウンスを進めていきたい。

工工开彡金岡

- ① 8月の倉出しは稼働日減少で大幅にマイナス。前年同月比もマイナス。お盆明けも特に変わらず低調な荷動き。9月も同様に低調で、秋需の実感はない。
- ② 8月の売上については、稼働日が少なかった分減少しているが、悲観する程ではない。9月以降はコロナウイルスの影響が懸念されるものの、需要期に入ることもあり数量は確実に増えることは間違いない。市況もやっと値戻し気運が高まりつつあり、明るさが見えてきたように思われる。

異形棒金岡

- ① 8月は稼働日数も少なく、予想通り厳しい結果となった。スクラップ市況の上昇、メーカーの強気販売で、製品市況は強含みであり、荷動き不振が続いているものの、在庫品の市況は堅調。

平金岡

- ① お盆休みがあり稼働日数が少なかったこともあったが、想像以上に荷動きが悪く、その影響から収益も悪化。先行き不透明。メーカーは値上げの意向を打ち出しており、今後さらに厳しい状況になりそう。
- ② 8月も変わらず低調。盆明け以降も荷動きがほとんど無く、閑散としている。秋以降の話も聞こえてこず、低調のまま推移するのではないかと。製造業の早期回復を期待している。

車彡量开彡金岡

- ① 先行き不透明であるが、現在はまずまずの数量で推移。
- ② 8月の店売りもお盆前後の駆け込みも無く、静かな一か月だった。営業日数も少なく、とても苦しい状況だ。

金岡管

- ① 出荷量は5月の最低水準に戻ってしまい、溶協品種でのジリ安が続いている。9月からの回復を期待したいが、不透明な状況は続きそうである。
- ② 8月は稼働日少で前月比売上、数量減も、日当たり実績は微増であった。

構造用金岡

- ① 需要環境は、一部自動車関連向けで回復傾向の動きがあるが、建産機、工作機械向けは低迷している状況。販売量は前年比で3割程度落ち込む。先行きも不透明。在庫量は、販売不振だが発注抑制により大幅増とはなっていない。価格は一部安値も散見されているが、一部案件に止まっており横這いで推移。

磨棒鋼

- ① 大口の自動車向けについては、中間在庫の消化にまだ一定の期間が掛かる模様。本格的に需要が戻るのは10月以降か。在庫削減、コスト低減を引き続き進めて可能な限り収益を確保していく。今後は夏期以降のコロナ感染がどのような動向になるかにより、経済環境が大きく左右されてくる。

その他

<鉄スクラップ>

- ① スクラップ発生が少ないので、世界的にスクラップ不足な状況が続いているが、不安定だった相場は少し落ち着いている。

<金属表面処理>

- ① 8月は紐付き、物件物は予定通りの扱い量となったが、稼働日が前月に比べて4日少なかったことも含め、スポットの扱い量が40%減となった。引合いも少ない状況で、9月も同様の操業となりそう。